

平成20年度事業計画のポイント

創立50周年に向けた「攻めの改革」を推進

今年度の取り組みをお知らせします

平成19年度より、本学の創立50周年(平成26年)に向けて「攻めの改革」を進めています。

昨年度は天野貞祐記念館や人工芝グラウンドの完成など「目に見える」改革の年でした。

今年度は、既存のソフト面を充実させるとともに、新規のハード面も同時に実現させるため、財源の効果的配分、通常業務の見直しを徹底的に行います。

今年度の重点項目

- ① 外国語学部新学科増設準備
- ② 法学部総合政策学科支援
- ③ 学部・学科の活性化事業
- ④ 研究所による諸活動の展開
- ⑤ 教育・研究支援体制の総合的整備
- ⑥ 学生サービスの向上
- ⑦ 学内セキュリティの強化
- ⑧ キャンパス再編プロジェクトの推進
- ⑨ 環境宣言・省エネルギー運動の推進

教学関係

「外国語学部交流文化学科」設置 (平成21年4月開設)

グローバル社会を背景に、ツーリズムをキーワードに国境や言語の壁を越えて交流するトランスナショナルな文化が交流文化学科の学びの対象。

英語学科の授業にビジネスなどの実践力を加味したプログラムを用意し、世界のどこにいても活躍できる人材を養成します。



環境対応・地域貢献

環境宣言・省エネルギー運動の推進

地域環境や地球環境に配慮し、人々の健康増進と環境保全に積極的に取り組みます。

キャリアディベロップメント講座の市民開講

国家資格として人気の「ファイナンシャルプランナー3級試験対策講座」を開講。

学生以外の地域市民に受講機会を提供。



完成予想図は平成20年6月現在のものです。

学生サービス・管理運営関係

教育支援室による授業、学習、研究等支援

教育支援室では、支援体制を強化し、充実したサービスを提供するためサポートスタッフを増強します。

「獨協大学父母の会(仮称)」の設立準備

学生、在学生のご父母と大学の絆を大切にするため、「獨協大学父母の会(仮称)」を設立し、より良いネットワークを作る準備をします。

施設・設備関係

東側新教室棟の建設

昨年完成した天野貞祐記念館、グラウンド整備に引き続き、今年度から、新教室棟建設準備を進めます。

新「敬和館」を含む駅前教育施設建設

たくさんの友人と出会え、共同生活ができる女子寮、新「敬和館」と「地域と子どもリーガルサービスセンター」などを含む教育施設の建設が松原団地駅前にて始まります。

平成20年度事業計画書

(単位:百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1) 外国語学部の新学科設立準備	1) 平成21年4月開設予定の新学科の広報・周知活動(広報パンフレット、ホームページの作成、高校訪問、開設記念講演会、シンポジウム開催等)を積極的に展開します。 新学科独自の英語教育教材開発、越境文化・観光学教授法のための各種調査を行います。	5.0
	2) 法学部総合政策学科開設支援 法学部創設40周年記念事業等の活性化事業	2) 新学科「総合政策学科」の開設に伴う広報・周知活動を強化します。 法学部創設40周年記念論文集を刊行します。	4.5
	3) 外国語学部:3学科活性化事業	3) 学部共通科目の充実や3学科間の提携科目構想を含むカリキュラム改正を行います。 積極的な広報展開とFD関連事業を含む各学科の自発的な活性化促進事業を行います。	4.5
	4) 国際教養学部活性化事業	4) 開学2年目となる国際教養学部の情報を受験生・社会に対し積極的に発信します。 学部活性化に繋がる情報収集・調査活動を行い、学部発展を目指します。	2.5
	5) 経済学部の語学教育の充実 キャリア支援等の活性化事業	5) 学部としての語学教育重視、キャリア支援等の充実を図り学部活性化に繋がります。 学部の教育研究を広く社会に発信するため「年金問題」「格差問題」「国際関係」等をテーマにした学部主催のシンポジウムを開催します。	6.0
	6) 英語教育におけるe-learningの充実	6) レベル別クラス編成により、上位クラスが使用しているe-learning授業教材(Criterion)を英語学科全クラスに導入し、e-learningの質的充実を図ります。	2.5
	7) 大学院法学研究科のコース再編調査	7) 法学研究科コース再編検討のための他大学院の状況調査、資料収集を行います。	0.3
	8) 法科大学院の学習支援強化	8) 名古屋大学法学教育支援システム、多機能シラバスシステムの利用による学習効果を高めます。	0.6
	9) ドイツ語スピーチコンテスト10周年記念事業	9) ドイツ語スピーチコンテスト第10回大会を記念し「ドイツ語パフォーマンス部門」(ドイツ語劇、ドイツ語合唱等)を新設します。	0.1
小 計			26.0
地域貢献関係	1) 新研究所の構想	1) 今後のグローバル化、ボーダレス化に対応した教育研究のため、本学の知的財産を開発する研究所を検討しています。	2.0
	2) オープンカレッジ新規開設講座の充実	2) 経済学部の授業にも関連があり、国家資格として人気となっている「ファイナンシャルプランナー3級試験対策講座」を新規開設します。	0.9
小 計			2.9
学生サービス・管理運営関係	1) 新図書館における資料整備とサービスの充実	1) 天野貞祐記念館新図書館移転に伴い処理が遅れていた資料の整備を行い、迅速な図書サービスの向上に努めます。	3.7
	2) 貴重書(資料)の保存処理	2) 天野貞祐寄贈本(3200冊)、鈴木信太郎文庫(1300冊)の貴重本の脱酸処理を行い、資料の保存に努めます。	0.5
	3) 学内ネットワークセキュリティの強化	3) メールサーバーを更新し、コンピュータウイルスからの防御、スパムメール判別処理、通信の記号化処理などのネットワークセキュリティの強化を図ります。	29.5
	4) 教育環境の整備	4) 教室PC・プリンタの更新および全教室PCのOSをXPに統一し、情報教育環境を整備します。	36.9
	5) 教育支援室による授業、学習、研究等支援	5) 教育支援室による天野貞祐記念館等における授業支援、学習支援、研究支援、機材対応、講演会等学内イベント支援の充実強化を図ります。	123.2
	6) 35周年記念館アリーナ周辺の警備強化	6) キャンパスの防犯強化として、35周年記念館アリーナ周辺の警備強化を図ります。	3.8
	7) 「獨協大学父母の会(仮称)」の設立準備	7) 「獨協大学父母の会(仮称)」設立に向けて、組織構成、規程整備、事業計画等の設立準備を行います。	3.0
	8) 大学近隣の迷惑駐車対策	8) 大学周辺の環境整備のためバイク通学による迷惑駐車取締りを強化します。	2.4
	9) 大学入試センター試験利用者用「デジタル受験票」の導入	9) センター利用入試志願者用として、「デジタル受験票」発行システムを導入し、受験者の利便性を図ります。 当システムの導入による発送費用等の経費削減に努めます。	0.8
	10) 外国語学部新学科入試広報	10) 平成21年4月開設予定の外国語学部新学科の学生募集広報を強化し、受験者数の増加を図ります。	5.0
	11) 高校教員対象進学説明会の実施強化	11) 進路指導の教員等を対象とする新学科説明会を開催し、受験者数の増加に努めます。	0.3
	12) 大学情報発信のFAX一斉配信サービス	12) プレスリリースを強化し、大学の情報を積極的にかつ迅速に配信させる一斉配信サービスを行います。	0.1
小 計			209.2
施設・設備関係	1) 東側新教室棟の建設	1) 第2次キャンパス再編事業として、老朽化した教室棟を取り壊し、新教室棟を建設します。(平成22年度竣工予定)	1,260.0
	2) 松原団地駅前教育施設の建設	2) 駅前所有地に新女子寮等の教育施設を建設します。(平成21年度竣工予定)	1,000.0
	3) 新図書館自動書庫の増設	3) 天野貞祐記念館新図書館自動書庫の第2期拡張工事を行います。	105.0
	4) グラウンド管理施設の建設	4) グラウンド整備事業として、グラウンド管理施設を建設します。	28.0
	5) 図書購入	5) 資産図書を購入します。	54.0
小 計			2,447.0
合 計			2,685.1